



# 卓 話



## 「応急手当の方法」

四谷消防署救急係長 小菅 真昭氏

### ★覚えよう応急手当



1. 肩をたたきながら声をかける
  - ・「わかりますか？」と声をかける
  - ・耳元で段々と大きな声をかけ反応を見る
2. 反応が無かったら、大声で助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼
  - ・道ばたであれば通りがかりの人に119番通報とAED搬送を依頼する
  - ・「誰か」ではなく「あなた」と指名して、依頼する
3. 気道確保と呼吸の確認
  - ・気道を確保して普段どおりの息をしているかを10秒以内で確認する
4. 普段どおりの息（呼吸）がなかったら、人工呼吸を2回行う。
  - ・約1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を2回吹き込む
  - ・血液や嘔吐物によって感染の可能性がある場合は、人工呼吸は行わず、胸骨圧迫をただちに開始する
5. 人工呼吸が終わったらすぐに胸骨圧迫
  - ・胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返して行う
  - ・胸骨圧迫の位置は胸の真ん中
6. AEDが到着したら
  - ・まず、電源を入れる
  - ・ふたを開けると自動的に電源が入る機種もある
7. 電極パッドを胸に貼る
  - ・電極パッドの貼る位置は電極パッドに描かれた絵のとおり、また皮膚にしっかり貼る
  - ・身体が汗などで濡れていたらタオル等で拭き取る
  - ・小児には小児用の電極パッドを貼る。小児用が無い場合は成人用電極パッドを代用する
  - ・乳児に対してAEDは使用しない
8. 電気ショックの必要性はAEDが判断する
  - ・心電図解析中は誰も傷病者に触れてはいけない
9. ショックボタンを押す
  - ・誰も傷病者に触れていないことを確認したら、点滅しているショックボタンを押す

以後は、AEDの音声メッセージに従う。心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引き継ぐか、何らかの応答や目的のある仕草（例えば、嫌がるなどの体動）が出現したり、普段どおりの息が出現するまで続ける。